



TOKYO 2025
DEAFOLYMPICS

大会スケジュール

正式名称	第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025
開催期間	2025年11月15日～26日（12日間）
参加国	81カ国・地域、3チーム
参加者数	各国選手団等：約6,000人 (選手約3,000人/役員・スタッフ約3,000人)
競技数	21競技

開催ビジョン

- 1 デフスポーツの魅力や価値を伝え人々や社会とつなぐ
- 2 世界に、そして未来につながる大会へ
- 3 “誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現

大会エンブレム

①「手」
・デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表現
・デフリンピックを通して、競技と話題に「触れて」欲しいという想いを込めた。



③「花」
・輪が広がった先には、「新たな未来の花が咲いていく」という意味を込めた。
・桜の花弁をモチーフ

④「色」
世界中から沢山の人々が集まる大会なので、赤・黄・青・緑の色で多様性を表現

②「輪」
デフリンピックに「触れた」ことで、少しずつお互いに交流やコミュニティが「輪」のように繋がっていくことを表現

大会マスコット



東京2025デフリンピック公式マスコットに、東京都スポーツ推進大使である「ゆりーと」を任命

「桜の花弁」がモチーフとなっている大会エンブレムとの統一感を生む桜色を用いたTシャツを着用

2 競技/会場

東京2025デフリンピック競技大会では
21競技を東京都内/福島県（サッカー競技）/静岡県
(自転車 ロード・MTB) で実施



ハンドボール



ボウリング



自転車（ロード）



陸上



ゴルフ



ビーチバレー ボール



オリエンテーリング



射撃



水泳



バドミントン



自転車（MTB）



サッカー



卓球



テコンドー



テニス



バスケットボール



柔道



空手



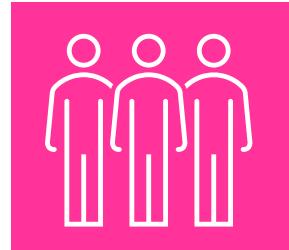
バレーボール



レスリング（フリースタイル）



レスリング（グレコローマン）



選手

3,081 人

(男子2,014人 女子1,067人)

(過去最多)



79

参加国・地域

3

チーム

(過去最多)

競技/種目

21

競技

209

種目



観客

約 280,000 人



ボランティア

約 3,500 人

手話言語でコミュニケーションが可能 1,641人

(うち国際手話でコミュニケーションが可能 447人)

英語で円滑なコミュニケーションが可能 641人



国際手話通訳/日本手話言語通訳

約 240 名

国際手話

約100人

日本手話言語通訳

約140人



国・地域別 メダルランキング

	国・地域	金	銀	銅	合計
1	ウクライナ	32	39	29	100
2	アメリカ	17	7	12	36
3	日本	16	12	23	51
4	中華人民共和国	12	16	22	50
5	大韓民国	11	13	18	42
6	インド	9	7	4	20
7	イラン	8	10	19	37
8	イタリア	8	8	4	20
9	カザフスタン	8	4	13	25
10	ドイツ	6	8	10	24



選手の最高齢/最少年齢

84

歳

13

歳

デフ世界新記録

39

記録更新



デフリンピック新記録

62

記録更新



ライブビューリング総数

のべ 320

万人

デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぐ

○競技中継に手話言語解説

21競技のうち、18競技の決勝中継に手話言語解説を（のべ172名）付与した
ライブ視聴数は合計で、のべ300万人の視聴数となった



○ユニバーサルコミュニケーション技術の活用

各競技会場やスクエア等の総合受付やスクリーンに、音声を文字で表記（多言語対応）し、外国の方やきこえない人とのコミュニケーション・情報保障を行った



○デフリンピック・スクエア



体験プログラム（みるTech）」を、国内外の参加者に体験していただいた

○ DEAF SPORTS HOUSE

デフスポーツやデフリンピック、ろう者の文化体験、日本選手団等を学べる「DEAF SPORTS HOUSE」をスクエア内に設置した
大会期間中の国内外の来場者数は、約1万人となった



世界に、そして未来につながる大会へ